



京都

市会だより

第109号

令和2年(2020年)
7月15日発行

京都市会ホームページ

京都市会

検索



●発行 / 京都市会

●編集 / 京都市会事務局

●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

京都市印刷物 第026018号

新型コロナウイルス感染症 的確・迅速に対応!
対策の補正予算に **全会一致で!**

4月開会市会の報告 通年議会の採用により、市長から緊急的に提出された補正予算(第1弾:2,288億2,800万円)等に迅速対応! 4月24日の本会議で可決しました。

主な補正予算

第1弾

**中小企業等緊急支援補助金の創設**
新型コロナウイルスの感染拡大により深刻な影響の広がる市内中小企業等への新たな助成制度を創設する。(10億円)**文化芸術活動緊急奨励金の創設**
映像配信などの新たな発表手法等に奨励金を交付する。(5,000万円)

付帯決議

[可決した議案に付ける、市会から市長への意見や要望のこと。]

市民や事業者に対し、迅速かつ丁寧に給付及び支援事業等を行うことを強く求める付帯決議を付しました。

決議

[市会としての意思表示・意見表明]

市民や中小企業等への補助制度の構築など最大限の取組強化を強く求める決議を、市会議員全員で提案のうえ、全会一致で可決しました。



5月市会の報告 6月2日の本会議で、市長から提出された補正予算(第2弾:42億700万円、第3弾:28億1,200万円)等を可決しました。

満額交付実現!

主な補正予算

第2弾

**PCR検査の充実等**

市独自のPCR検査の基準により、症状の有無にかかわらず検査を実施するほか、妊婦を対象としたPCR検査費用の支援などを行う。



検査体制の拡充について、衛生環境研究所の取組を府市協調で進めるべき。

**医療機関に対する支援金の創設**

帰国者・接触者外来の開設や入院患者を受け入れた医療機関に対する支援金を創設する。

院内感染が医療崩壊につながるおそれがあることを踏まえ、踏み込んだ支援を行うべき。



補正予算全般に関して、国の交付金や既存事業の精査など、あらゆる手段で財源を確保するべき。

第3弾

**中小企業等緊急支援補助金の充実等**

事業者を幅広くしっかりと支援するよう、また減額することのないよう、予算を充実する。(当初10億円▶25億円に)



予算を上回る1万件を超える応募があったことから、予算の更なる増強をすべき。

**文化芸術活動緊急奨励金の充実**

申請状況を踏まえ、寄付金等を活用して充実し、文化芸術の担い手の活動を支援する。(当初5,000万円▶3億円に)

審査に当たり、コロナ禍による社会の変化に合わせた発想や価値観の転換を求める。

**新型コロナウイルス感染症対策支援
支え合い基金*条例の制定**

あらゆる手段を講じて基金を増やし、全庁の事業に活用するべき。

*新型コロナウイルス感染症の影響を受けておられる市民や事業者、医療機関等への支援や感染拡大防止に活用するための基金

1億円を捻出!!

**議員報酬等を削減し、新型コロナウイルス感染症
対策に活用**

議員報酬及び夏期手当を削減して捻出した1億円を、新型コロナウイルス感染症対策支援支え合い基金に積み立て、市民・事業者等に寄り添った事業へ活用することとしました。



緊急!

3度目の緊急申入れを行いました。

5月21日に緊急事態宣言が解除されることを受け、同日山本議長から市長に対し、市民向けの基本的な行動指針や、公共交通機関や学校などの場面ごとの行動指針を早急に示すなど、引き続き、市民の命と生活を守ることに全力を挙げるよう、1月、4月に続き3度目となる緊急申入れを行いました。



市会での新型コロナウイルス感染症対策 ~「3密」の状態を徹底回避~

本会議

- ・密接状態を回避するために、議場のレイアウトを変更し、表決以外の議事においては、一部の議員は別室のモニターを視聴。
- ・演壇にアクリル板を設置し、発言者ごとに演壇とマイクの消毒をするなど、飛沫感染を予防。



本会議場



本会議場・別室

委員会

- ・委員会室での委員、理事者の席の間隔を広げ、出席理事者は、必要最小限の人数に設定。
- ・休憩時間の換気に加え、定期的に委員会審議を一時中断し、換気を実施。
- ・発言者ごとにマイクを消毒。



委員会室



本会議場・演壇

そのほかの議案や審議結果、意見書等の全文などは、 市会ホームページへ!